

緊急水害対応要請 「今之浦川・ぼう僧川の河床掘削、堤防強靱化改修」

昨年の台風19号は、全国で堤防決壊や氾濫を引き起こして甚大な被害をもたらした。100年に一度のはずの想定豪雨が毎年日本列島を襲うことが現実のものになってきた感がある。市内においても、今之浦川・ぼう僧川が危険水位となり、周辺地域に避難所が開設される対応がとられる状況となった。両河川は市内にいくつかの支流を擁しており、太田川低地にある市内中心部・南部・東部地域はこの両河川が水害対応の要となる（太田川は地震・津波対応でかなり進んだとみる）。市内中心部の内水氾濫の心配も両河川が鍵を握っている。志政会にても、野崎県議（自民党県政調会長）を通して県へ太田川水系として河床掘削・堤防強靱化対応の改修を要請致しました。



今之浦川・ぼう僧川が合流する塩新田付近
今之浦橋から河口まで河床掘削・護岸改修が進められているが、この下流部分が整備されないことには上流部改修は先になる。この進捗状況が遅いと思えることから、早急な改修を袋井土木さんにも要請したものである。



10月12日の神明中体育館の様子。
10世帯22人が避難して来られた。



今之浦川が合流したぼう僧川付近（福田中島）
保水・流水機能の拡大が望まれる。



11月5日野崎自民党政調会長と静岡県交通基盤部河川砂防局へ河川改修要請

“シズオカショック”はここエコパから世界へ

「もうこれは奇跡とは言わせない!!」

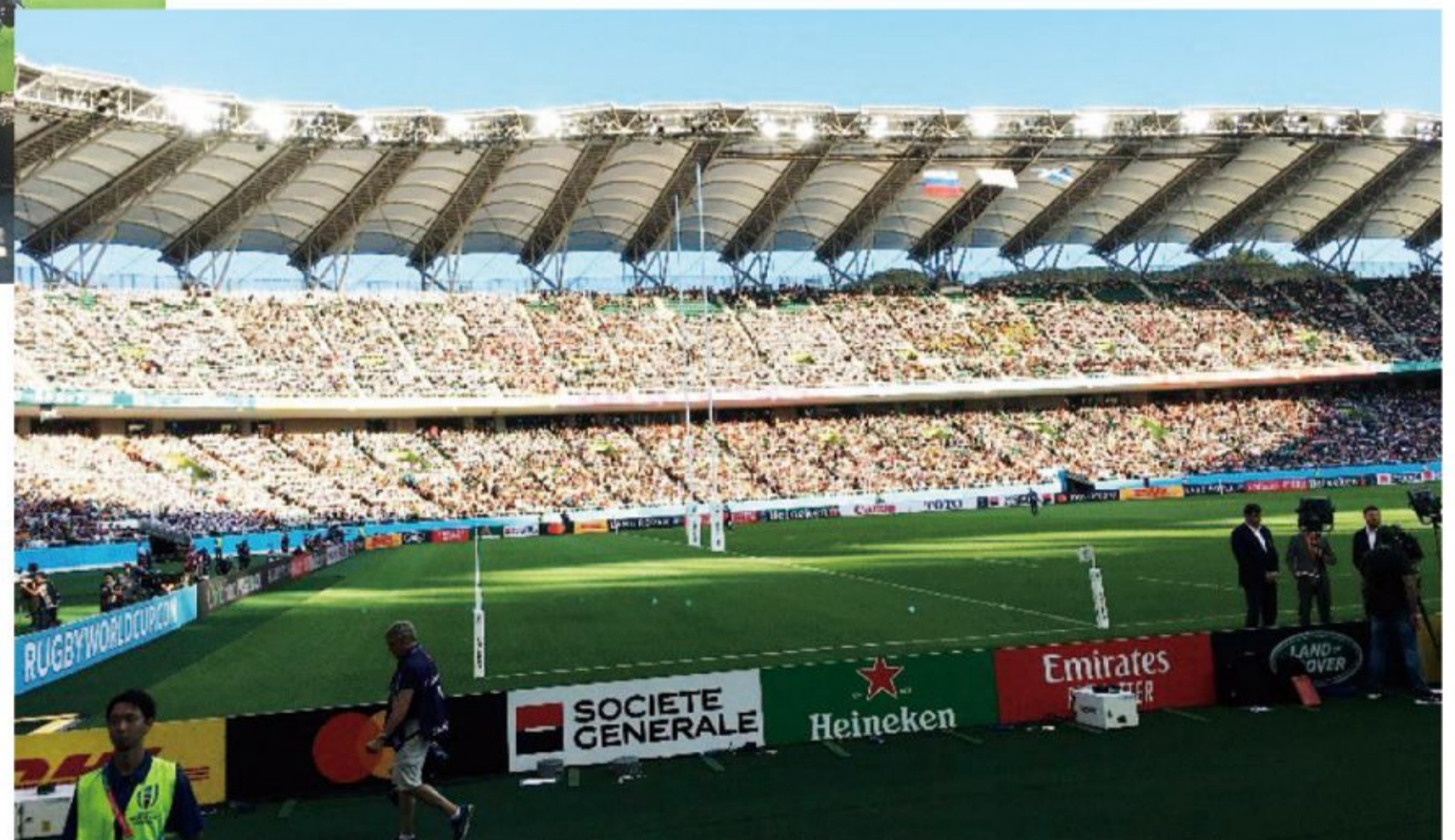
ラグビーワールドカップ



令和元年9月28日のエコパスタジアムで優勝候補のアイランドを19:12で撃破してベスト8へ進む道を開いた日本桜の戦士たち。47,813人の大観衆が応援する中での快挙。そして世界に“シズオカショック”と発信されたのです。私も「にわかラグビーファン」として熱狂した一人でありました。エコパには10月9日のスコットランド対ロシアの試合を観戦に行きました。



スコットランドから応援に来た方々と記念写真



一番前列のこんないい席で一生一度のワールドカップを見ることができました。スコットランド 61:0 ロシア 観衆44,123人